

single frame

Adreon Henry ñ Drums // Brendan Reilly ñ Guitar // Jason Schleiter - Keyboards

2004年4月20日、VolcomエンターテイメントはSingle Frameの
アート、音楽、フォトグラフィーをフィーチャーした『Wetheads Come
Running』のスペシャル版を世に送り出す。インターフェースには
Erik Horn、Jason Archer & Paul Beck、そしてPaul Jones & Science 102 の
アニメミュージックビデオが含まれている。

テキサス州オースティン出身のSingle Frameは、過去の音楽ムーブメント（アシッド
、クラウト、アリーナ、パンクやニューウェーブ）の要素を、2004年ならではの独特
で錯乱したロック感覚にほんのり取り入れ、丁寧に混ぜ合わせてしまう。

『Wetheads Come Running』のワイルドで斬新なドラム、ギター、シンセサイザー、
オルガンそして乱雑な電子音が奏でる音は、未来への緊迫感と抱負を持たせる。Comm
JetとPost Daydream Forecast Endeavorの、キーボードによるキャッチーなポップ
・メロディは、低社会層に在りながら高度技術を駆使するという「ハイテク・ロウ
ライフ」の悲哀を奏でている。まるで深夜にやっている奇妙な漫画のサントラ的な「
Floral Designs in a Straight Line」や「I've been to a Party at This House」
は、あせた色や、かつては鋭く尖っていたものを抽象的に描いている。Single Frame
は、微調整された独特な最先端の音と現代社会が放つ怪しげな輝きのくっきりした影
を『Wetheads Come Running』で表現した。

2003年5月、Pitchforkmedia.comではSingle Frameのデビューアルバム、『Wetheads
Come Running』がベスト新譜に選ばれ、オースティン・クロニクル誌はこう評してい
る。“Single Frameは、FugaziにOingo Boingoのように暗い歓喜”とした。

2003年に送りつけられてきたデモによって、Single Frameの独特なスタイルはVolcom
エンターテイメントの目にとまった。直ちに心を奪われ、そのアルバムは全国的に注
目されるべきことが明白だった。以前にAlready Gone Recordsよりリリースされたも
のにはないWetheads Come Runningのスペシャル拡大バージョンを2004年4月20日に
Volcomエンターテイメントがリリースする。

このWetheads Come Runningの拡大版CDはErik Hornによる「Floral Design In a
Straight Line」のビデオの他、2本の見事なアニメビデオ、Jason ArcherとPaul
Beckによる「Eavesdropper」とPaul Jonesによる「Comm Jet」をフィーチャーしてい
る。

For More Information: www.volcoment.com // www.singleframe.net
A&R: Ryan Immegart // (949) 646-2175 ext. 206 // rimmegart@volcom.com
Publicity: Reid Sheldon // (949) 646-2175 ext. 293 // rsheldon@volcom.com

2004 Volcom Entertainment



Volcom Entertainment / 1740 Monrovia / Costa Mesa / CA / 92627 / USA